

鹿児島市感染症情報

発行元：鹿児島市保健所

ホームページ <http://www.city.kagoshima.lg.jp> >健康・福祉 >健康・医療 >流行疾患、感染症 >感染症の発生状況

感染症発生動向調査とは…

1981年（昭和56年）から全国で行われている調査事業で、1999年（平成11年）4月に「感染症法」が施行されたことにより、感染症対策の一つとして位置づけられ、感染症の発生状況を毎週、把握・分析し、情報提供することにより、感染症の発生及びまん延を防止することを目的として行われています。

調査対象の疾患は「全数把握対象疾患」と「定点把握対象疾患」に分けられています。

- ・全数把握対象疾患：すべての医療機関において、その疾患を診断した場合に届け出るもの
- ・定点把握対象疾患：指定された医療機関（定点医療機関）において、その疾患を診断した患者数を毎週報告するもの

●全数把握対象疾患の届出状況（患者を診断した医師から届出があった疾患）

類型	届出数
1類感染症	届出はありません
2類感染症	結核1例（結核性胸膜炎例1例）
3類感染症	届出はありません
4類感染症	つつが虫病1例、Bウイルス病1例
5類感染症	急性脳炎3例、侵襲性肺炎球菌感染症3例、梅毒1例

●定点把握対象疾患の届出状況（市内の指定医療機関（定点）からの報告）

- ・指定医療機関数（定点）：インフルエンザ定点23、小児科13、眼科4、基幹1

定点あたりの患者数（上位5疾患）を掲載（全体の数は次ページに掲載）

※定点あたりの患者数＝1週間あたりの1医療機関の患者数の平均

順位	疾患名	前週	今週		警報・注意報等
1	インフルエンザ	31.00	32.48	↑	警報開始基準値：30 注意報開始基準値：10
2	感染性胃腸炎	18.92	20.15	↑	警報開始基準値：20 注意報開始基準値：—
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5.38	3.92	↓	警報開始基準値：8 注意報開始基準値：—
4	咽頭結膜熱	1.77	3.46	↑	警報開始基準値：3 注意報開始基準値：—
5	手足口病	1.54	1.54	→	警報開始基準値：5 注意報開始基準値：—

第51週からインフルエンザが警報開始基準値を超えています。
感染性胃腸炎が警報開始基準値を超えました。
咽頭結膜熱が警報開始基準値を超えました。

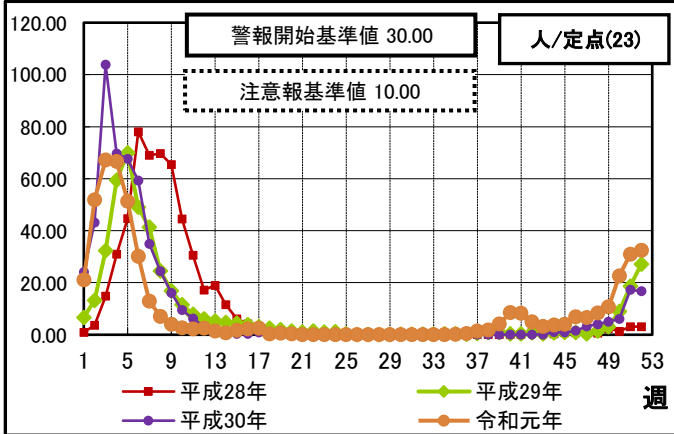
●疾患別報告数・定点当たり報告数（色の付いている疾患が定点当たり上位5位）

定点種別	前週比	疾患名	週	52	51	50	49	48	47	平成31年
				(本週)	(前週)	(2週前)	(3週前)	(4週前)	(5週前)	報告数合計
インフルエンザ	△	インフルエンザ	報告数	747	713	520	246	192	154	11,263
			定点当たり	32.48	31.00	22.61	10.70	8.35	6.70	—
小児科	=	RSウイルス	報告数	1	1	1	2	2	2	1,127
			定点当たり	0.08	0.08	0.08	0.15	0.15	0.15	—
	△	咽頭結膜熱	報告数	45	23	38	30	34	16	1,023
			定点当たり	3.46	1.77	2.92	2.31	2.62	1.23	—
	▼	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	51	70	65	59	58	43	2,338
			定点当たり	3.92	5.38	5.00	4.54	4.46	3.31	—
	△	感染性胃腸炎	報告数	262	246	191	158	123	138	6,691
			定点当たり	20.15	18.92	14.69	12.15	9.46	10.62	—
	△	水痘	報告数	12	2	6	2	10	3	492
			定点当たり	0.92	0.15	0.46	0.15	0.77	0.23	—
	=	手足口病	報告数	20	20	24	9	5	8	3,272
			定点当たり	1.54	1.54	1.85	0.69	0.38	0.62	—
	=	伝染性紅斑	報告数	12	12	10	12	7	18	582
			定点当たり	0.92	0.92	0.77	0.92	0.54	1.38	—
	▼	突発性発疹	報告数	9	10	16	9	14	6	551
			定点当たり	0.69	0.77	1.23	0.69	1.08	0.46	—
▼	ヘルパンギーナ	報告数	8	9	6	4	9	5	1,330	
		定点当たり	0.62	0.69	0.46	0.31	0.69	0.38	—	
▼	流行性耳下腺炎	報告数	0	3	1	0	4	1	150	
		定点当たり	0.00	0.23	0.08	0.00	0.31	0.08	—	
眼	=	急性出血性結膜炎	報告数	0	0	0	0	0	0	3
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
△	流行性角結膜炎	報告数	3	2	1	3	1	2	225	
		定点当たり	0.75	0.50	0.25	0.75	0.25	0.50	—	
基幹	=	細菌性髄膜炎	報告数	0	0	1	0	0	0	4
			定点当たり	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	—
	=	無菌性髄膜炎	報告数	0	0	0	0	0	0	1
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	=	マイコプラズマ肺炎	報告数	0	0	0	0	0	0	3
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	=	クラミジア肺炎	報告数	0	0	0	0	0	0	0
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	=	ロタウイルス	報告数	0	0	0	0	0	0	7
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
報告数合計				1,170	1,111	880	534	459	396	29,062

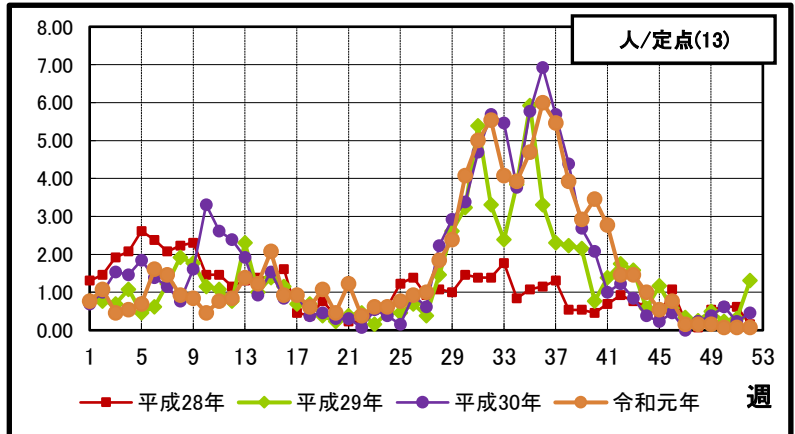
※「前週比」欄において、「△」は報告数の男女合計が前週比増加、「＝」は横ばい、「▼」は減少を示す。

● 各疾病の報告状況の推移 (比較 その1)

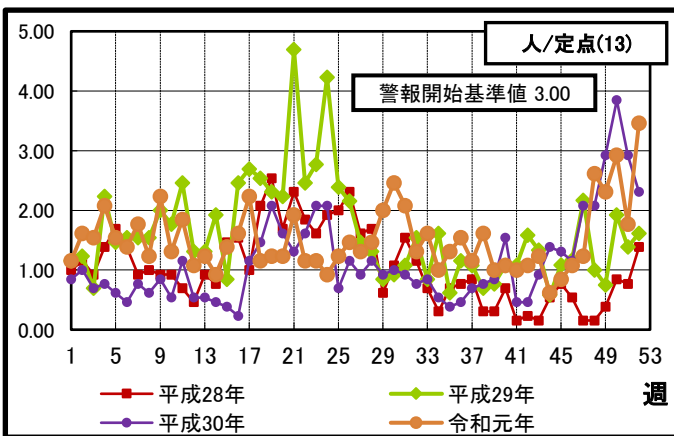
【 インフルエンザ 】



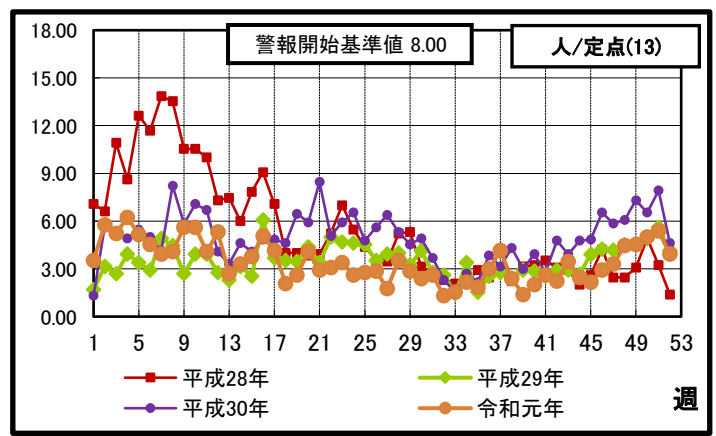
【 R S ウ イ ル ス 感 染 症 】



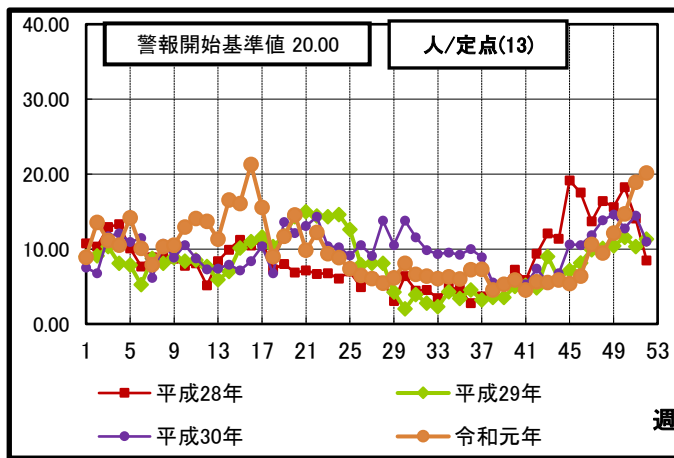
【 咽 頭 結 膜 熱 (プ ール 熱) 】



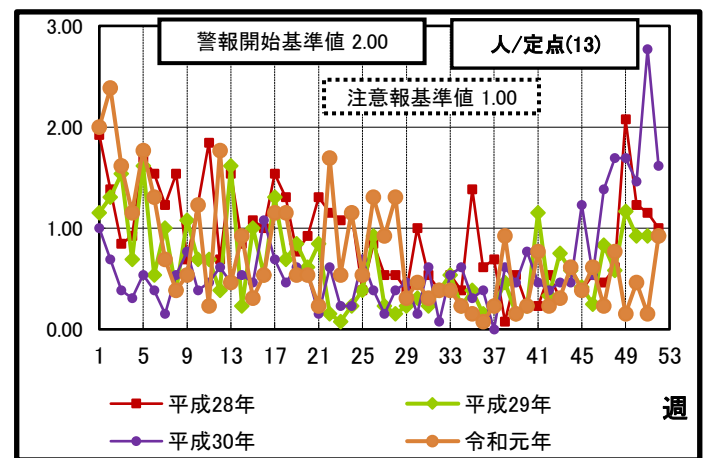
【 A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎 】



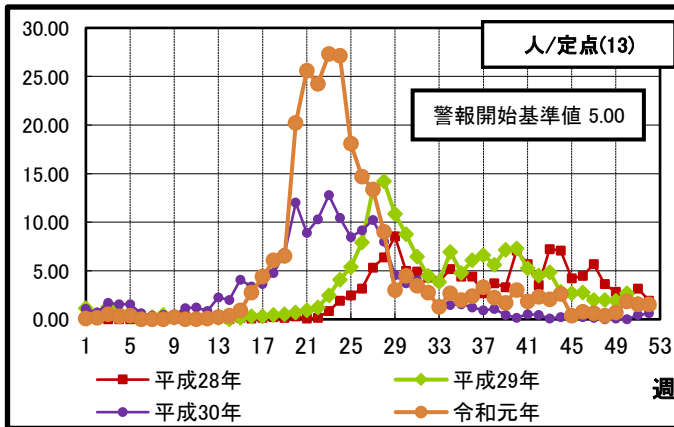
【 感 染 性 胃 腸 炎 (お う 吐 下 痢 症) 】



【 水 痘 (み ず ぼ う そ う) 】



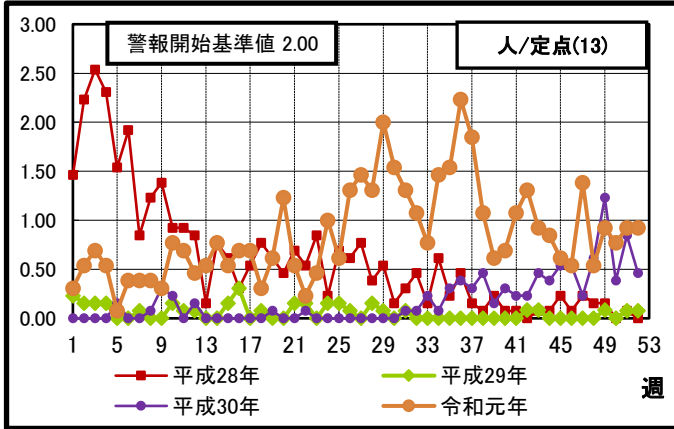
【 手 足 口 病 】



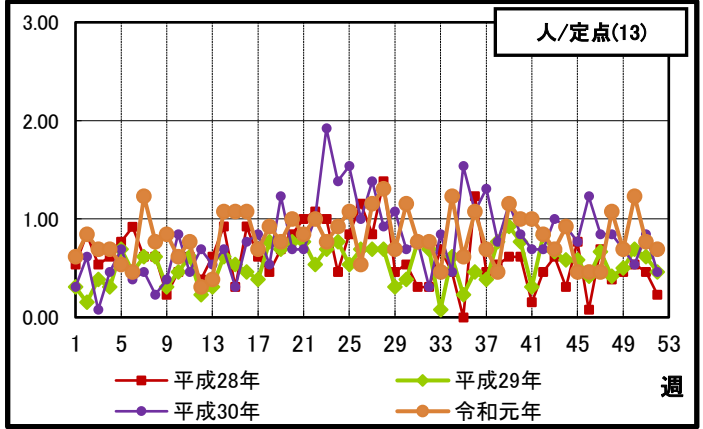
縦軸の値
⇒ 報告数 ÷ 報告義務がある医療機関数
横軸の値
⇒ 報告を受けた週

● 各疾病の報告状況の推移 (比較 その2)

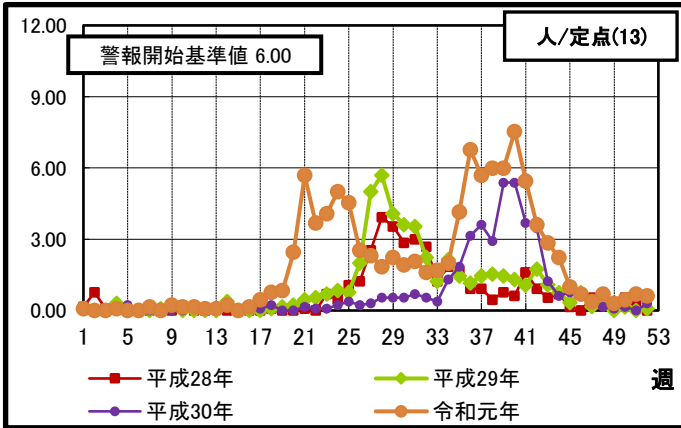
【 伝 染 性 紅 斑 (り ん ご 病) 】



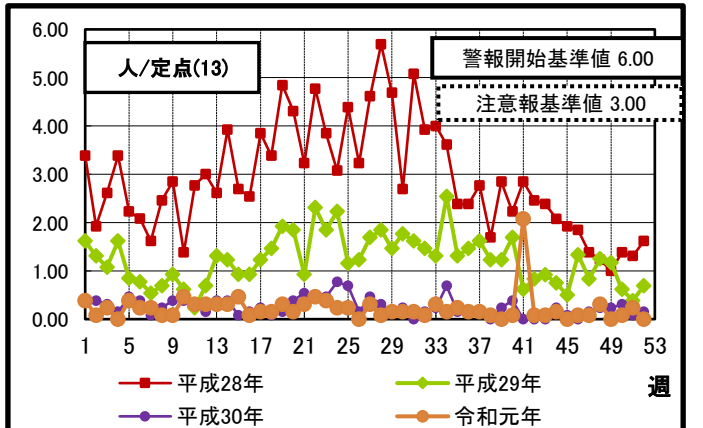
【 突 発 性 発 疹 】



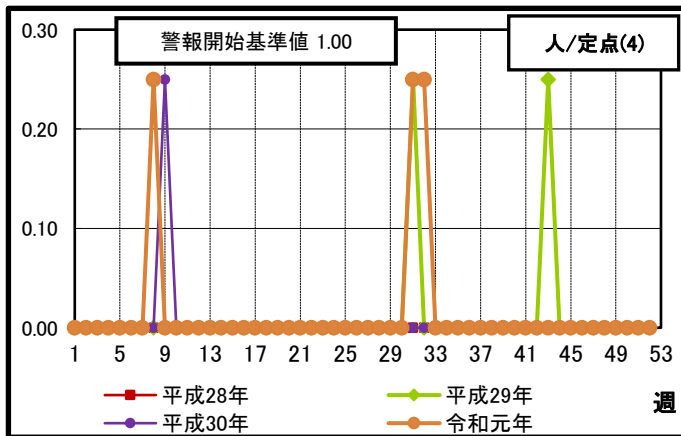
【 ヘ ル パ ン ギ ー ナ 】



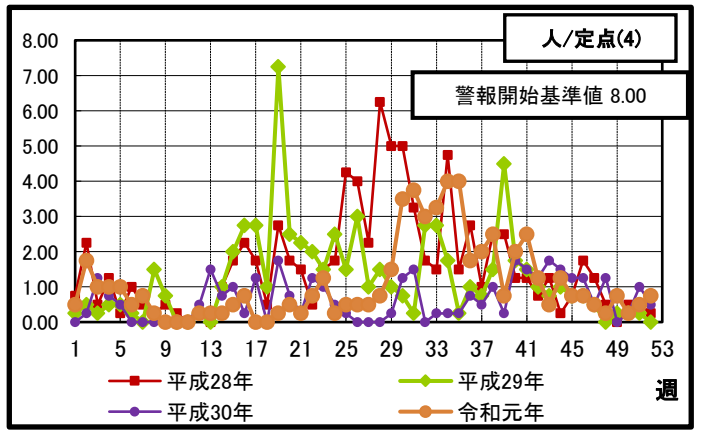
【 流 行 性 耳 下 腺 炎 (お た ふ く か ぜ) 】



【 急 性 出 血 性 結 膜 炎 】



【 流 行 性 角 結 膜 炎 】



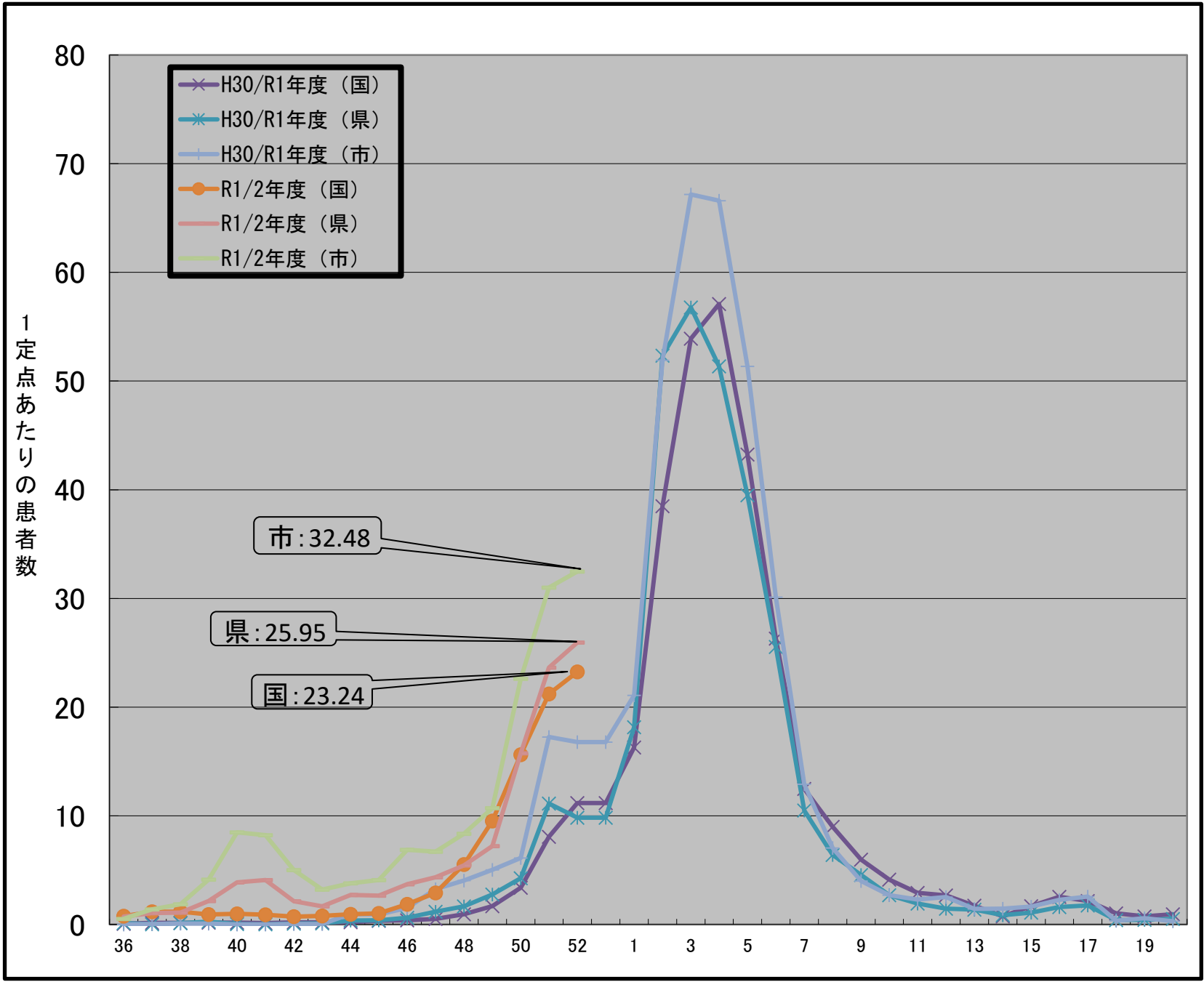
縦軸の値

⇒ 報告数 ÷ 報告義務がある医療機関数

横軸の値

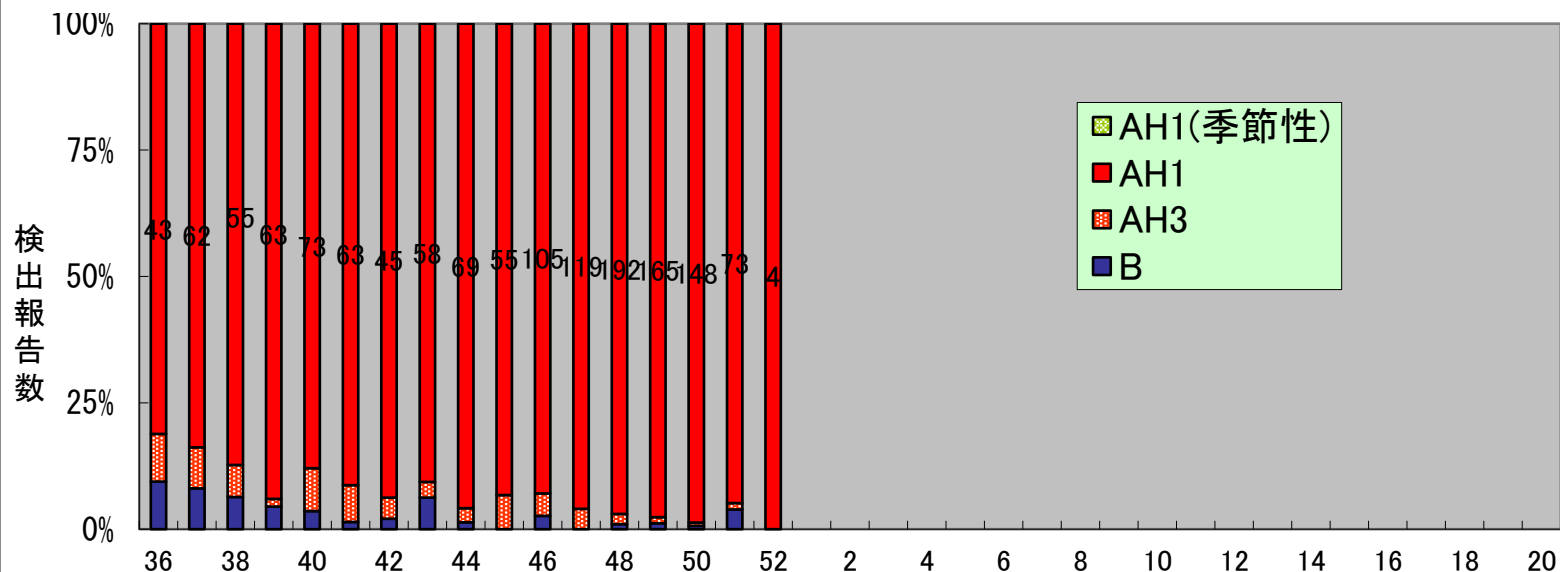
⇒ 報告を受けた週

H30/R1/R2シーズンにおけるインフルエンザの発生状況(1定点あたりの報告数)



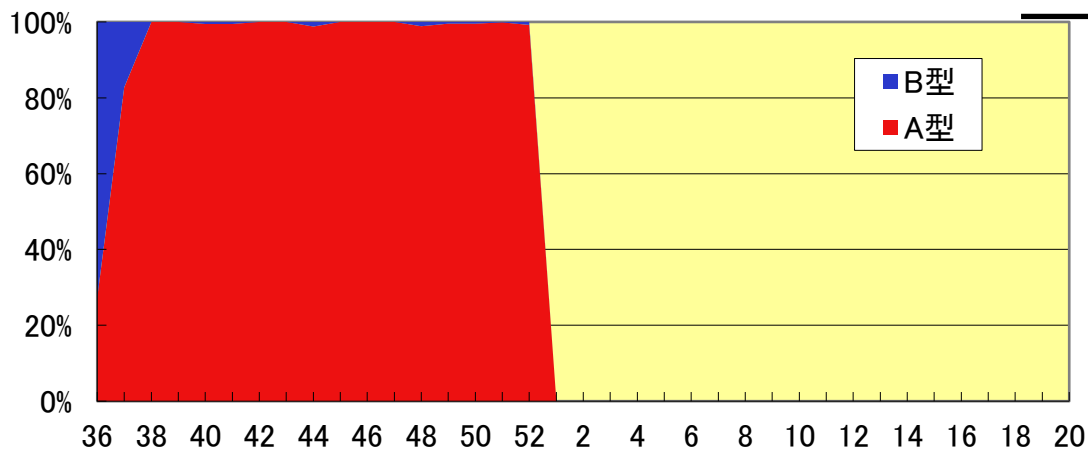
インフルエンザの発生状況(参考資料)

全国の地方衛生研究所で確認されたインフルエンザウイルスの検出割合の推移
(病原体検出情報システムの統計情報より作成)



※感染症発生動向調査システムのインフルエンザ罹患数推計データ調整中のため、37週までが再計算されています。38週以降は変更の可能性があります。今後の週報でご確認ください

インフルエンザ迅速診断キットでのA型/B型の割合 (鹿児島市)



この図は、2019年9月の第36週以降、市内の定点医療機関から報告のあった「検査診断例(迅速診断キットで陽性の反応があった者)」におけるA型/B型の割合を示しています。

【本市:第 52 週】

迅速診断キットの検査結果

A型:	65 人
B型:	5 人